

行政改革審議会の意見

令和 8 年 7 月 3 0 日

- ・ 目標を達成した指標は他の参考となる工夫を確認し、未達成の指標は要因を分析したうえで、目標達成に向けた取組の改善につなげるべきである。
- ・ 引き続き 3 つの S（Satisfaction, Speedy, Smart）を常に意識し、効果的・効率的に行政改革の取組を進めていくべきである。
- ・ 実効性の高いカスタマーハラスメント対策を講じ、働きやすい職場環境への改善につなげるべきである。

安城市行政改革審議会委員

	氏 名	所 属 等
会 長	高松 淳也	名城大学 法学部 教授
副会長	伴 雅紀	安城商工会議所 副会頭
委 員	浦田 真由	名古屋大学 大学院情報学研究科 教授
委 員	小鹿 登美	さんかく 2 1 ・安城 副会長
委 員	小山 敦	碧海信用金庫 専務理事
委 員	酒井 大策	大阪経済大学 国際共創学部 教授
委 員	杉戸 厚吉	一般社団法人地域問題研究所 理事
委 員	鈴木 寛	市民（公募市民）
委 員	寺田 覚	安城市町内会長連絡協議会 会長
委 員	松村 敦夫	市民（公募市民）